

2023年度

科目名称	キャリアデザイン
授業コード	B0222
英語名称	Career Design II
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	糟谷 充子 (共通・教職資格系科目・卒業生発行区分)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>昨今の社会経済の大きな変化の中で仕事そのものや働く環境が大きく変化しており、今後は技術革新などの影響を受け、一層の社会変化が推測される。このような中では、働く人にとって自身のキャリアを主体的にデザインし行動につなげることが従来にも増して重要となる。</p> <p>キャリアデザイン では、キャリアを「働く」ことだけにとどめず、人生を築いていくプロセス全般と捉えて授業を進める。ワークを通して自己理解を深めるとともに、働く環境を理解し、自身の生涯に渡るキャリアデザインに主体的に取り組む準備をすることを目的とする。</p> <p>授業は、講義の他、個人ワーク、グループワークを織り交ぜて進める。グループワークを通して、コミュニケーション能力やチームで協働する力を高めていく。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>担当講師 糟谷充子は、30年以上日本企業および外資系企業日本法人で人事・総務など管理部門を担当した経験に加え、8年間にわたり大学におけるキャリア教育に携わってきた経験がある。また、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、公認心理師の資格を有しており、社会人のためのライフキャリア相談室の相談員として、働く人のための相談業務にも携わっている。</p> <p>これらの経験を生かして、講義のなかでは、学生の皆さんが社会人としてスタートを切る際に課題となることに焦点をあてて進め、働く環境の理解を促し、自己理解を深め、将来にわたり主体的にキャリアをデザインすることの重要性を伝えたい。</p>
到達目標	<p>建学の精神に基づき、高度な専門的知識と実践的な問題解決能力を備え、社会で活躍し続ける人材を育成することを目的とする。</p> <p>1) 働くことについて具体的に考え、キャリアデザインの必要性を理解する。</p>
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション（授業概要、学ぶ意義）</p> <p>第2回 キャリアとは働くとは（「キャリア」を人生全般と捉え、働く意義について考える）</p> <p>第3回 自己理解（1）- 価値観を知る（自身のキャリア・アンカーを理解して、自分の持つ価値観を考える）</p> <p>第4回 自己理解（2）- 職業興味を考える（職業興味検査を通して、自分の持つ職業興味を考える）</p> <p>第5回 自己理解（3）- 持ち味・強みについて考える（自己理解を振り返り、持ち味・強みを他者に伝えるヒントとする）</p> <p>第6回 キャリア形成に必要な力 発信力に焦点を当てて（コミュニケーション能力のうち、伝える力に焦点をあてて考える）</p> <p>第7回 リーダーシップを考える（時代とともに変化する働く現場でのリーダーシップについて考える）</p> <p>第8回 働く動機付けとは何か（内発的動機付け・外発的動機付けを理解し、働き続けるために自身が大切にしたいことを考える）</p> <p>第9回 働く環境の理解（1）- 雇用を取り巻く環境の理解（ダイバーシティ&インクルージョン、メンバーシップ型雇用・ジョブ型雇用などを理解し、自身でキャリアデザインをする必要性を確認する）</p> <p>第10回 働く環境の理解（2）- ワーキングルール（働く上で知っておく必要がある法律を理解する）</p> <p>第11回 働く環境の理解（3）- ジェンダーとキャリア（働く場でのジェンダーについて考える）</p> <p>第12回 グループワーク演習（授業で取り上げた内容の中から提示されたテーマについてグループで話し合い、結論を出す演習を行う）</p> <p>第13回 先輩の就職活動から学ぶ（先輩の体験談を聞き、今後の自身のキャリアを考える）</p>

2023年度

計画・内容	第14回 インターンシップの意義・企業研究の必要性と方法（インターンシップの現状を理解し、その準備方法を知る） 第15回 まとめ（キャリアデザイン の授業の振り返り、今後の大学でのキャリアプランを考え行動計画を立てる）
授業の進め方	本講義では、講義に加えて個人ワーク、グループワークを行いながら進める。グループは毎回異なるメンバーで構成し、講義を通して多様な人たちと関わり、協働することを学ぶ。毎回、講義の最後には振り返りシート（リフレクションシート）の提出を課し、講義で学んだこと、疑問に感じる事、気づきなどを振り返る機会とする。
能動的な学びの実施	毎回、講義の最後には振り返りシート（リフレクションシート）の提出を課す。振り返りシート（リフレクションシート）に書かれた質問・疑問について、次回以降の講義のなかで取り上げ、教員と学生あるいは学生同士の意見共有・交換を行う。 グループワークを行うなかで、コミュニケーションについての理解を深め、伝える力・聴く力を醸成する。
授業時間外の学修	予習復習で60時間相当。授業の振り返り、ホームワークや提出課題などを課す。
教科書・参考書	授業時に資料を配布し、教科書は用いない。参考図書は随時示す。
成績評価方法と基準	授業毎の振り返りシート（リフレクションシート）、ホームワーク、提出課題 50% 期末レポート 50%
課題等に対するフィードバック	毎回講義の冒頭に、前回の講義に対する質問、学生が抱いたキャリア全般についての疑問に回答する。それに加えて、他の学生も交えた意見共有・交換を行い、皆で考える機会とする。
オフィスアワー	講義開始前、講義終了後に講義室で対応する。また、講義ごとに提出を求める振り返りシート（リフレクションシート）に記載された質問や疑問については、講義の中で回答する。 窓口担当教員：三尾 真琴 mmio@ntu.ac.jp
留意事項	2023年度キャリアデザイン は、2022年度キャリアデザイン を履修した学生を想定して授業を行う。しかし、キャリアデザイン を履修していなくても、授業内容は十分理解できるので、働くことについて興味のある学生の履修を期待する。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方：非対面となった場合は、Zoomを利用して講義、個人ワーク、グループワークを交えて講義を進める。（Zoom ブレークアウトルームを活用予定） 成績評価方法と基準：基本的には対面の場合と同様。